

第1回 安来市総合計画審議会 開催概要

1. 開催概要

日 時 令和6年11月22日（金）13：30～15：00

会 場 安来市役所安来庁舎 3階 防災対策室

出席者 以下のとおり

【審議会委員（出席：18名）】

（敬称略）

所 属	役職	氏 名	区分	備考
学識経験者		勝部 慎哉	学識	
島根県立大学	准教授	高須 佳奈	学識	
学識経験者		野々村 千映子	学識	
米子工業高等専門学校	准教授	川戸 聡也	学識	
安来商工会議所	事務局長	渡部 仁	産業（商工）	
島根県農業協同組合や すぎ地区本部	企画総務部 長	矢田 篤	産業（農業）	
社会福祉法人 安来市社 会福祉協議会	副会長	小松原 勝之	医療・福祉	
安来市自治会代表者協 議会	会長	岸川 勉	市民団体（自治会）	
安来市労働組合協議会	議長	杉谷 健治	労働団体	
安来市観光協会	会員	醍醐 靖幸	産業（観光）	
一般社団法人 安来青年 会議所	理事長	宇山 賢二	産業	
安来市子ども・子育て推 進会議	委員	角 陽子	市民団体（子育て）	
安来市 PTA 連合会	家庭教育委 員長	多胡 順子	市民団体（教育）	欠席
やすぎボランティア団 体ネットワーク	会長	板持 潤一	市民団体（NPO）	
松江公共職業安定所安 来出張所	所長	中村 明臣	官公庁（労働）	欠席
安来金融会	幹事	小川 俊一	金融機関	
株式会社 山陰中央新報 社	米子支局長	藤井 満弘	言論	

一般公募		寺田 琢磨	一般	
一般公募		石田 優美	一般	
一般公募		中村 高志	一般	

【事務局】

部 署	職 名	氏 名	備考
安来市政策推進部 政策企画課	部長	宇山 富之	
〃	課長	松崎 理泰	
〃	係長	吉原 秀和	
〃		清水 仁志	

【委託事業者】

会社名	氏 名
株式会社エブリプラン	森田、鶴見、北本

2. 議事次第

- 1) 開会
- 2) 委嘱状交付
- 3) 市長あいさつ
- 4) 委員紹介
- 5) 会長・副会長選出
- 6) 会長・副会長あいさつ
- 7) 諮問
- 8) 議事
 - (1) 第3次安来市総合計画策定方針について【資料1】
 - (2) 第3次安来市総合計画策定に向けたキックオフイベントについて【資料2】
 - (3) 第3次安来市総合計画策定に向けた市民意識調査結果(速報)について【資料3】
 - (4) 第3次安来市総合計画策定に向けた基礎調査について【資料4】
 - (5) 意見交換
- 9) その他
- 10) 閉会

3. 配布資料

- ・ 次第

- ・ 策定委員会委員名簿
- ・ 【資料１】第３次安来市総合計画の策定方針について
- ・ 【資料２】第３次安来市総合計画策定キックオフイベント開催報告
- ・ 【資料３】第３次安来市総合計画策定に向けた市民意識調査結果（速報）について
- ・ 【資料４】安来市の現状の整理・分析

4. 議事

1) 開会

2) 委嘱状交付

3) 市長あいさつ

4) 委員紹介

5) 会長・副会長選出

設置要綱の規定に基づき、会長と副会長を選出した。

会長、副会長については、事務局案として勝部委員を会長に、高須委員を副会長に提案し、異議なく選出された。

6) 会長・副会長あいさつ

7) 諮問

8) 議事

事務局より、議題の各項目を資料に沿って説明を行った。

- (1) 第３次安来市総合計画策定方針について【資料１】
- (2) 第３次安来市総合計画策定に向けたキックオフイベントについて【資料２】
- (3) 第３次安来市総合計画策定に向けた市民意識調査結果(速報)について【資料３】
- (4) 第３次安来市総合計画策定に向けた基礎調査について【資料４】
- (5) 意見交換

発言者	発言の要旨
委員	前回の２次よりも今回の３次の１０年計画が重要と思います。今までとは少しレベルが違い、いろいろな社会課題が顕在化してくると思います。その中の１つが人口減少の問題で、特に生産労働人口です。生活インフラを支えている介護、福祉、医療現場においては、どのようにして人材を確

	保していくかが課題になっています。 また、広瀬にある短大に外国人の留学生さんが今年 8 人入って来られ、日本語学科の開設も考えておられる。今後出雲村田がどうなるか分かりませんが、当然ながら日本人だけで生産労働人口を賄っていくことは難しいので、その辺を考えた時に人口減少に対する対策、多様性、地域共生社会といったことがメインになるような計画づくりを具体的に進めていく必要があると思います。
会長	生産労働人口の減少と、共生社会について大きな課題があるということ、そこを克服できるような計画の策定といったご要望です。
委員	市民アンケートの 18 歳以上の 1,500 人は、どのように選ばれて配布されたのでしょうか。
事務局	住民基本台帳の情報から無作為抽出を行ったものになります。
委員	「今後のまちづくりのために」みたいなことを手紙に書かれたと思います。その中で回答率が 41%。50%を切っていること自体が少ないと思ったのですが、この回答率をどう思っているのでしょうか。
事務局	一般的にこの手のアンケートは大体 30%ぐらいの回答率なので、40%を超えてきているのは逆に高い数値と捉えています。
委員	分かりました。
委員	計画策定にあたり、今アンケートと基礎調査はしていただいているとは思いますが、地域単位あるいは交流センター単位の中での市民の意見の吸い上げができないでしょうか。 前回の 2 次の前期後期を全部読ませていただきました。よくまとめられています、机上の論理ばかり載っているなというイメージです。現役の市民としてまちを支える 20 代の意見を吸い上げる方法はないでしょうか。どうしたら住みたいと思うのか、安来に移住したいと思うのか、その辺を掘り下げたような意見が聞けないものかと思っています。それはずっと関わらせていただいている総合戦略の中でも同じようなことだと思っている、先程委員が仰られた人口減少をどう食い止めるか。なかなか外から入ってくださいというのは難しいので、とにかく流出を食い止める、あるいは、出生率を上げていただくような施策に重きを置かないといけないと思います。もう少し市民の若年層の方の意見を吸い上げられるような施策、方法がないものかどうかをご検討いただきたいです。
事務局	来年度に若者を対象としたワークショップを開催しようと思っています。あと、基本構想案がある程度まとまった段階で、安来、広瀬、伯太でタウンミーティングのような意見をいただける場を設けたいと思っていますので、そういう場を使いながら、広く意見を求めていきたいなと思っ

	ています。
委員	市長も申し上げられた通り、住みやすいまちということもありますが、こういった面が拡充されれば住みやすくなるのか、安来市がどういう風になりたいのかがもう少し見えてくるといいと思いました。もちろん行政なので、いろいろな方に均等にサービスを届けることが重要かもしれませんが、限りある財源というところもあります。例えば関係人口みたいな話もあると思いますが、旅行に来るところ、観光しやすい市を目指すとか、産業にもっと力を入れるとかがもう少し見えてくると、皆さん意見が言いやすいと思いました。
会長	データとしては、飲食とか公共交通の利便性、あるいは公共施設の利便性。また、女性や若者が活躍する場所がもっと欲しいとかいろいろなことが出ています。さらに具体的に市民の皆様からの意見を吸い上げ、具体性のあるものが欲しいということだったと思います。
委員	どんな安来市にしたいかが少し具体的じゃないところはやはりあると思います。京都はずっと観光に舵を切り続けた結果として、観光客が沢山来るので市バスに市民が乗れないということになっているみたいです。でもそれはちゃんとベクトルを持って積み重なっているからこそだと思います。安来市ももっとこういう安来市にしたいとか、こんな安来市みたいなフレーズを集めるところから始めないと、みんなが同じ夢を見られないと思います。 やはりゴールが見えないことには、恐ろしくて走りたくありません。私は元々マラソンなんか好きじゃないですが、それでも走らないといけないので、まずゴールを定めて愉快に走れるようなコース作りを市役所の皆様方にはぜひお願いしたいです。神在月の時期には出雲大社の方から観光客が流れてきまして、明るい気持ちの人達は皆さん非常に良い話をしてくださいました。中には安来に住みたいなんて言ってくださる方も6人おられました。ただ、その方々にじゃあ安来のどこに住むのかなんて聞けないです。そんな私でも市役所のあの窓口行くといいよとか、いろいろなイベントの宣伝が出来たら話は違ってくると思います。そうすると、そのような人たちも捕まえることができ、また松江・出雲に取られなくて済むとも思いますし、何よりも安来は頑張っているなということを安来市民の口から発することができるというのは、自分自身の誇りにも繋がると思います。前向きにするために、やってほしいことが本当たくさんありますので、いろいろな人の意見を聞いて、話できたらいいと思います。
会長	大きな構想のもとで、より具体的なゴールがよく見える、そうした計画を策定してほしいというご意見でした。

委員	先日、11月4日の山陰中央新報での全面広告を見させていただきましたが、やはり今皆さんが仰られたように、いろいろなことがぼんやりとしている印象を受けました。主婦であり、子育て世代であり、自分で事業をしている身であり、本当に等身大に安来で暮らしている生活者として、希望が持てるビジョンみたいな分かりやすいものが今のところないと思っています。大人も子どもも分かりやすく、明るく思えるものはあるべきだなと思いますし、先程委員さんが仰ったように、観光の活性化や、女性活躍、文化の町ということも打ち出してはいますが、具体的に取り組まれている内容が分かりにくいと思います。子育て応援ということで、金芽米の無償提供とさまざまな施策をされていますが、それを一般市民が受け取る側として、こんなにもインフラを整えてもらっているという自覚が見えるような、安来市全体のいろいろなサービスが分かるような資料があるといいところ最近感じていました。
会長	ゴールが見える計画を策定して、そのために具体的にどんな取り組みをしているのかと、市民がサービスを受けているのかが分かりやすい、そうしたものをお願いしたいということでした。
委員	これからその幸せ度を上げていくとか暮らしやすい地域にするためにはどこに力を入れていくのか。最終的にこの計画の中でもそれぞれ分野ごとに施策を作って、評価して検証していくと思います。例えば農業の部分でも、どういうことをやったらプラスになっていくのか。逆に言えば、こういうことをやって皆さんの評価が上がっていくことで良くなるだろうと考えていますが、そのためにもさっきのアンケートなどもう少し詳しい中身を教えていただいて、その中から何かできることのヒントを見つけていけたらいいという気がしています。それが1つ1つ集中していくところは多分柱になっていくと思うので、その辺の情報をとにかくいろいろいただいて、審議ができればいいと思ったところです。
会長	少し詳細な情報が皆さんも欲しいというご意見でした。
委員	私の勤務している会社で、いろいろな部署の人間が集まって、会社のいいところや強み、皆の思いをまとめて企業キャッチコピーじゃないですけど、新しい言葉を1つ作りました。例えば、日産だと「やっちゃえ NISSAN」と凄く分かりやすい言葉があって、安来市もそのような言葉を作ったら分かりやすいと思いました。どじょっこテレビを見てみると、「都会から気づいたら安来市にいました」みたいなCMが流れており、それを見ると安来市について改めて気づかされるような部分があっていいと思っています。安来市にはこういう魅力があるんだという映像があるにも関わらず、安来市のHPをクリックしても出てこないで、魅力が分かりやすいよう

	な CM やキャッチコピーなどを安来市で作ることは大変かもしれないですが、何かそういうのを 1 つ作ると少し向かいやすいのかなと思っていますが、いかがでしょうか。
会長	キャッチコピーや合言葉と言いますか、そういった大きな概念でみんながまとまればというようなお話でした。
事務局	まさに仰っていただいていることがこれから作ろうとしている基本構想のキャッチフレーズになる言葉だと思います。市民向けのワークショップなどでも皆さんの誰もが納得するとか、一緒になって向かえるような将来像を作っていきたいと思っていますので、またご意見いただければと思います。
委員	平井知事はその辺が得意だと思います。良くも悪くも鳥取市、鳥取県って凄く分かりやすいのかなという気がしていて、それが全国的な知名度に繋がっていると思うので、やはり分かりやすいのが重要だと思います。
委員	やはりその 1 つ、目指す方向性みたいなものが見えるといいと思います。また今までの計画書の形式にこだわらず、例えば冒頭にこういうビジョンで、ビジョンの大元になったのは実はこういうワークショップをして出てきたというようなことが見えるようになるといいとも思います。 先程も意見が出ていましたが、次々と情報が変わっていくので、ウェブサイト上で、それこそ今どういふふうに安来市は進もうとしていて、今こういうことが実現できています、とかそういうのが見えるようになると、身近になると思います。 関係人口の話もありましたが、私、よく山陰酸素さんのケイオスさんで、子ども向けの化学教室を親子向けにやっています。その時にいつもケイオスさんがお昼ご飯を準備してくださいます。この安来市内のいろいろな飲食店さんのケータリングを利用されているのですが、今まで 1 回も同じものに当たったことがないです。そして、毎回工夫したものがあります。これまで 5 年間、年に 4 回実験教室をやっていますが、今まで重なりがないということを見ると、安来はめちゃくちゃ飲食店さん頑張っているんだと感じています。私はあくまでも安来にはお仕事で来させていただいて、そういうお昼ご飯に感動しただけですが、多分こういったことって市民の皆さんはご存じないのではないかなと思います。関係人口はこのようなところでも作れると思います。 一方、今回事務局の方で様々なデータをご準備いただいたかと思いますが、相対化することで初めて見える安来と、それだけではやはりつくりきれないものがあると思います。先程若者向けのワークショップもと仰っていましたが、是非大学としては協力させていただけるといいということ、安来市のこういう戦略、計画を作るためにそれをやるのではなくて、

	実はそれをやるのが自分自身のためにもなるんだというな 2 兎を追うような目的を作ったりすると、高校生や中学生も楽しく参加してくれると思います。
委員	安来市の公式 LINE がありまして、今の友達数が 1,162 人です。やはり LINE というのは、1 番有効なツールだと思いますので、スマホを持っている子たちには、この安来市の LINE を登録してもらって、いろいろな情報に触れる機会として活用されるといいと思います。
委員	安来市民だけが使える LocaCo というアプリがあります。まだアプリ化はしてないみたいですが、みんなが意見を言いやすい、お知らせも見やすい、使いやすいといったこのツールに少し力を入れてもいいと思いました。
委員	私も X で安来市をフォローしていますが、やはり行政は真面目なポストが多く、スルーしてしまいます。たまに景色の綺麗な場所のポストもあって、個人的には好きです。安来のいいところ、安来市内の企業さんや観光地でもいいと思いますので、もう少し緩く投稿していただけたらと思います。公式 LINE に来る分に関しても、業務的なものが多いので、なかなか自分も読み飛ばしてしまうことがあります。 それと、先程聞けばよかったのですが、中高生にはご自身の 5 年後の幸福度については聞いていないのですか。
事務局	市民の方だけです。中高生にはこの質問はしませんでした。
委員	高校生の「今幸せですか」に対して大人よりも幸福度が高いというのは、多分安来市がやっているふるさと教育等がうまくいっていることだと思います。でも逆に大人は、現在の幸福度より 5 年後下がっているということは、安来に希望が持てていないということだと思います。でもひょっとしたら高校生は高いかもしれません。先程年代の話もありましたが、617 人の市民の中の、例えば 30 代は 5 年後の希望が持てているとかだったら、それはそれで安来市さんの今やっている方向性は間違っていないことにもなると思うので、もう少し細かいデータも欲しいと思います。ビジョン的なものを作るのはとても賛成で、ただ真面目な文章ではなく安来市民が気軽に言えるようなフレーズにしてほしいです。
委員	市全体を変えていくのはなかなか難しいと思いながら、自分は自分でできることをやっています。 外国人の方は安来市に今 200 人いらっしゃいますが、その方たちに安来に来てよかったな、こんな出会いがあると思ってもらいたいのので、様々なイベントを開催しています。チラシを持っていろいろな企業さん、市役所の方と一緒に回ったりしていますが、そういうことをやってもなかなか広

	がらないと感じています。 ある団体で社会人として知っておきたいお金の話をしてきたのですが、SDGsは何の略なのかほとんど皆さん知らなかったです。そういうのもあって、今安来高校生と国連がゴー・ゴールズっていう子ども向けのゲームをしています。それを持って今小学校も回っていますが、今度、安来の高校生と安来版ゴー・ゴールズを作ります。もしそういうのができた時にどこの誰に言うと安来市の人たちに広がるのかなとかが分かりません。せっかく作るならいろいろなところで使ってもらえたらなと思ったりしています。 また、well-beingの話も講座でしたのですが、お金のことを勉強してほしいとも思っていて、今、高齢者の団体からいろいろと依頼があるので、もっと講座があることを知ってほしいとも思います。 あと、教育委員会と一緒に地域の人材発掘に関わらせていただいています。井尻に組木細工の職人さんおられるが、そういう人材がいることを知らない方が多いので、安来市にはこんなすごい手に技を持った人たちがいるということを、何か紙ベースにしませんかということで動いています。 いろいろなところでいろんなイベントをやっておられますが、伝わっていないと思います。イベントのチラシはそれぞれがそれぞれになるので学校にもの凄い量があります。せっかく安来市でいろいろなことをしていても知らない人が多いです。情報を一括で見られるのはなかなか難しいですね。 私もとある団体でお弁当をとったら、こんな美味しいお弁当があるのかみたいな話になって、すぐに写真撮ってよく出しておられますけど、増えないですね。投稿するのは無料で、安来市のいい情報がもっと入って、もっとみんなが見れば小売店さんの売り上げにも繋がるだろうし、頑張っている人、頑張っている会社を安来市としてもっと盛り上げたいと思っています。
会長	安来市のいい情報がもっとたくさんの市民に届くような方法がないかなということでした。

9) その他

発言者	要旨
委員	高校生のアンケートを非常に興味深く見させていただきました。地元の企業には若者が不足しています。特に製造業の現場では若者の就職希望者が少ないということで、バスツアーなどいろいろな働きかけをしていただいたと記憶しています。その結果を受けて、この30%っていう数字が整合

	性はともかくとして、若干寂しいなと思いますので、引き続き、中高生のアンケートは継続的にしていただき、どのような動向になっているのかを分析して、今回の目的に近づけていけるとよいと思います。
会長	ありがとうございました。中高生へのアンケートは継続的にお願いをしたいというご要望でした。以上で本日の議事は全て終了致しました。皆様のたくさんのご意見をいただき、誠にありがとうございました。それでは、進行を事務局の方にお返しいたします。

10) 閉会



写真：開会の模様

以上